

AR

A u g m e n t e d R e a l i t y



商品カタログにおけるAR活用事例

家具などサイズが大きく単価の高い商品の買い物は絶対に失敗したくありません。

ARマーカ―を埋め込んだ家具カタログならば、家の中にその家具を配置するとどれぐらいのスペースを占有するのか。

また色見や風合いは現在の我が家に適応するのか否か、イメージを事前に確認することが可能です。

複数の家具カタログを持ちよることで家具配置シュミレーションを行ったり

ARマーカ―入り住宅カタログを組み合わせることで

ドールハウスのような箱庭の世界をあなたのタブレット内に構築することも可能になります。

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。

REAL



名刺から溢れる「リアルタイムメッセージ」

毎日世界中で無数に飛び交う名刺。

例えば、販路拡大を狙う異業種交流会での名刺交換は、その想いをのせて、少しでも多くの方々の印象に残りたい。

趣向をこらした素材やデザインに加え、ARの技術を活用し、より「印象的」且つ「機能的」な名刺をつくりませんか？

ARマーカ―を仕掛けた名刺をタブレット越しに覗けば、名刺の主が挨拶をおこない、更に管理画面から登録した

その時々発信したいメッセージを配信することが可能です。

季節の挨拶、新商品の案内、移転異動のお知らせなど、様々な用途に活用可能です。

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。



折 り 込 み チ ラ シ の 新 し い 「 魅 せ 方 」

土曜日の朝刊で必ずといってよいほど目にする分譲マンションのチラシ。

従前のプレゼン・デザインにARの技術を付加すれば、チラシの上に建築予定の3D模型を投影することが可能です。

タブレットを3Dマンションに近づけて、そのままマンション内に3Dウォークスルーすれば

マンションの内部構造(間取りやインテリア提案)を疑似体感することも。

更にタブレット内に広がるジオラマの世界で、生活に欠かせない、学校、病院、スーパー、駅など周辺ロケーションを確認することだって可能になります。

地場商店の紹介も兼ねて「広告に広告?」新たなビジネスモデルの創出を行ってみては??

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。

REAL



ARを埋め込んだ
パッケージ
デザイン



PV再生
生産者の顔見せ
こだわりをPR

パッケージデザインに込める「ブランディング戦略」

世間をにぎわす様々な事件。

消費者の食へのこだわり、トレーサビリティへの関心は増す一方です。

スーパーへ買い物に行くと、野菜を中心に生産者の「顔見せ」が行われているケースが珍しくなくなりました。

その他の商品はいかがでしょうか？

国内の手作りだけが信頼できるものなのでしょうか？

メーカーの工場生産であっても、海外製品であっても、しっかりした品質管理のもと

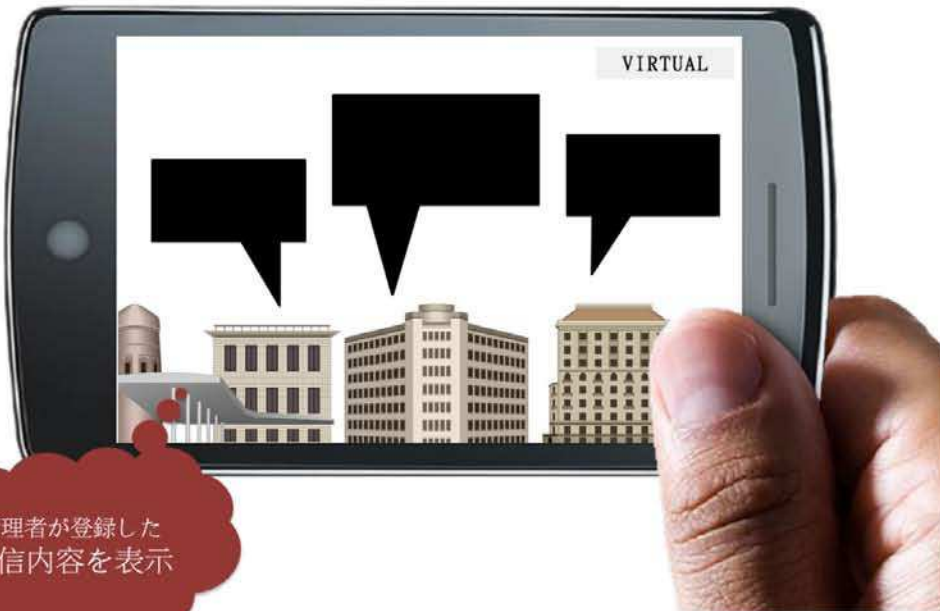
責任をもって生産された商品であれば、もっと安心できるはず。

ARの技術を利用して、生産者のこだわりを、もっともっと、しっかりと伝えてみませんか？

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。

REAL

ARを埋め込んだ
建物管理者が登録した
発信内容を表示

設備・施設の新しい「ナビゲーションスタイル」

タブレット片手に町を歩けば普段見えないものが見えてくる。

例えば：「大学のオープンキャンパスツールに」

例えば：「商店街のセール情報配信ツールに」

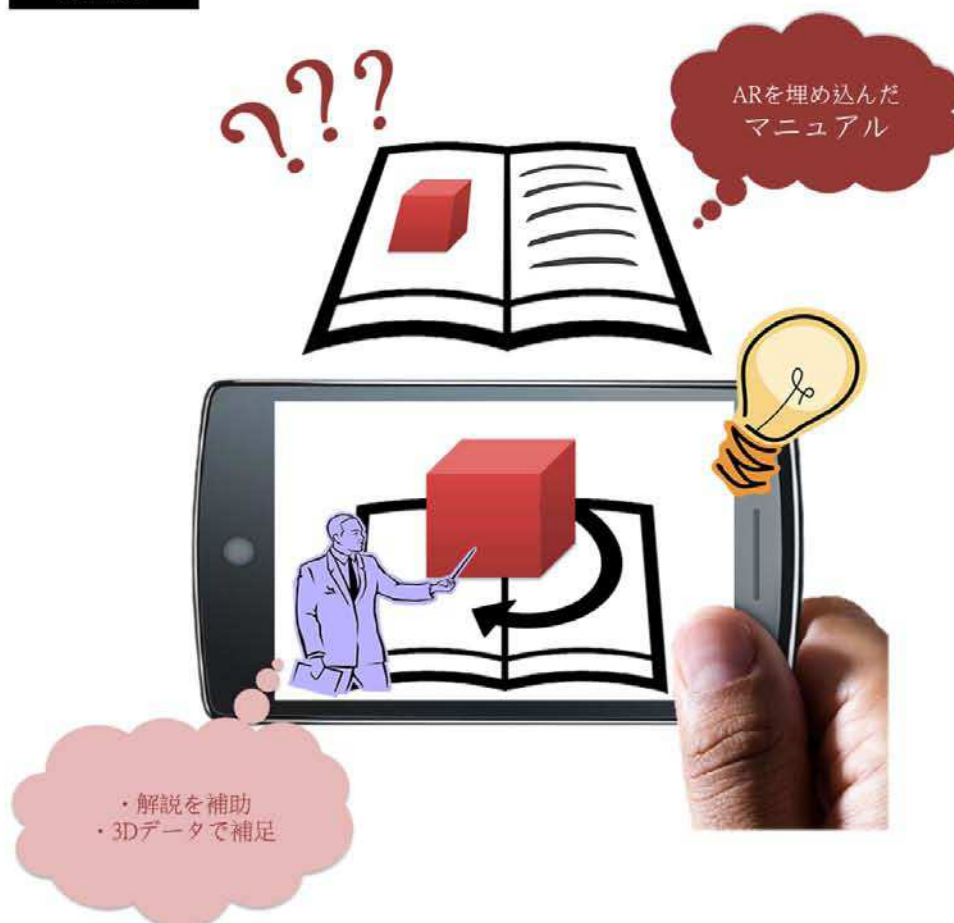
例えば：「古い街並みの歴史探索ツールに」

産官学問わず、様々なイベント企画に活用の幅は広く、地方の活性化プロジェクトから、町全体を広告媒体化した大型販促プロジェクトに至るまで、その活用の幅はアイデア次第で無限大に広がります。

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。

REAL



商品マニュアルに込められた「ホスピタリティ」

少年の頃作ったプラモデル。

いくら説明書を読んでも理解できなかった箇所がありませんでしたか？

いくら説明書を読んでも理解できなかった手順がYOUTUBEにある動画説明を視聴したら

一度で理解できたという経験はありませんか？

複雑な組み立てや操作のマニュアルは断片的な画像ではわかり難い場合が往々にあります。

ARの技術を活用すれば、解説者が登場して説明を行ったり、対象物を立体で投影し、裏返したり、回転させたり

より直感的に理解できるよう様々な工夫を施すことが可能になります。

また、利用者の閲覧ログを分析し、例えば停滞箇所を発見し、更に見直すべき点を改善、自動配布するなど

デジタルデータならではの利点を活かし、利用者により快適なサービスを提供することが可能になります。

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子情報として合成提示することを特徴とする。

REAL

ARマーカ―入り
商品・送り状ラベル梱包・同梱された
商品内容を
素早く確認

商品ラベルに埋め込まれた「ITソリューション」

出荷する荷物、納品する荷物、山積みされた箱、イチイチ開けずに中身を確認したいとき
あるいは開封するわけにはいかないときってありませんか？

ARの技術を活用すれば、商品マスターに登録された商品情報はもちろんのこと

その商品の形状や細かい色柄など直感的に確認することができます。

商品管理・梱卸しの課題解決のみならず、接客業務の効率化、消費者サービスの向上など
期待の幅も膨らみます。

従前のバーコード印字サービスに新たな付加価値として、AR技術を活用してみませんか？

AR(Augmented Reality)=拡張現実

現実環境にコンピュータを用いて情報を付加提示する技術
および情報を付加提示された環境そのものを指す言葉。
バーチャルリアリティと対を成す概念として強化現実とも呼ばれ
現実の環境(の一部)に付加情報としてバーチャルな物体を電子
情報として合成提示することを特徴とする。